



# 平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 JUKI株式会社  
 コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月6日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 清原 晃  
 (氏名) 鈴木 正彦  
 TEL 042-357-2211

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	81,703	10.1	6,221	11.7	5,603	3.9	3,645	3.4
29年12月期第3四半期	74,228	1.3	5,571	100.7	5,391	312.4	3,771	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 3,077百万円 ( 21.9%) 29年12月期第3四半期 3,941百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	124.43	
29年12月期第3四半期	128.75	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	118,171	35,374	29.4
29年12月期	110,554	33,343	29.6

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 34,689百万円 29年12月期 32,726百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		35.00	35.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年12月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 創立80周年記念配当10円00銭

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	6.1	7,600	6.8	7,100	9.4	4,700	16.7	160.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	29,874,179 株	29年12月期	29,874,179 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	578,228 株	29年12月期	577,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	29,296,191 株	29年12月期3Q	29,296,688 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動に取り組むとともに、将来に亘る磐石な顧客基盤の構築のため、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの攻略を推進してまいりました。その結果、電子部品の供給不足などによる一部の生産遅延の影響はあるものの、アジアおよび中国の活発な設備投資需要を着実に取り込むことが出来たことにより、売上高は817億3百万円(対前年同期比10.1%増)となりました。

利益面につきましては、ミドルマーケットの市場攻略費用や先端開発費用の増加はあったものの、全般的には売上が増加したことで、営業利益は62億2千1百万円(対前年同期比11.7%増)となりました。また、営業外においては、債権の評価替による為替差損が増加したことなどから、経常利益は56億3百万円(対前年同期比3.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億4千5百万円(対前年同期比3.4%減)となりました。

(主なセグメント別の概況)

#### ① 縫製機器&システム事業

市場別では中国などのハイエンド分野での売上は堅調に推移し、また、アジア市場におけるミドルマーケットでの売上も前年同期より増加してきていることから、縫製機器&システム事業全体の売上高は537億6千9百万円(対前年同期比8.6%増)となりました。利益面においては、売上増の影響がある一方で、ミドルマーケットでの市場攻略費用を投下したことなどから、セグメント利益(経常利益)は36億7千2百万円(対前年同期比10.7%減)となりました。

#### ② 産業機器&システム事業

産業装置では最大の市場である中国やアジアにおける設備投資需要が旺盛であるなか、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置などの売上が増加し、また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が進んでまいりました。しかしながら、生産遅延により一部の需要に応えられなかったこともあり、産業機器&システム事業全体の売上高は277億2千9百万円(対前年同期比13.3%増)となりました。利益面においては、新製品の販売増による利益率の改善もあり、セグメント利益(経常利益)は27億1千9百万円(対前年同期比47.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ76億1千6百万円増加して1,181億7千1百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等などが増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ55億8千5百万円増加して827億9千7百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べ20億3千万円増加して353億7千4百万円となりました。

これらの結果により、自己資本比率は29.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期通期の業績予想につきましては、第3四半期までの実績を踏まえて、売上高1,100億円、営業利益76億円、経常利益71億円、親会社株主に帰属する当期純利益は47億円へ修正しております。詳細につきましては、本日、別途開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,407	6,602
受取手形及び売掛金	32,398	32,940
たな卸資産	36,652	43,135
その他	4,041	4,605
貸倒引当金	△397	△417
流動資産合計	79,102	86,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,452	12,013
土地	6,459	6,362
その他(純額)	4,632	4,979
有形固定資産合計	23,545	23,354
無形固定資産		
投資その他の資産	1,672	1,993
その他	7,846	7,407
貸倒引当金	△1,612	△1,450
投資その他の資産合計	6,234	5,957
固定資産合計	31,451	31,305
資産合計	110,554	118,171
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,049	16,781
短期借入金	34,548	35,487
未払法人税等	666	1,617
賞与引当金	16	641
その他	6,308	6,806
流動負債合計	55,589	61,335
固定負債		
長期借入金	15,668	15,440
役員退職慰労引当金	61	68
退職給付に係る負債	5,207	5,176
その他	683	775
固定負債合計	21,621	21,461
負債合計	77,211	82,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	13,994	16,614
自己株式	△606	△606
株主資本合計	33,468	36,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	790
為替換算調整勘定	△1,966	△2,389
退職給付に係る調整累計額	208	200
その他の包括利益累計額合計	△742	△1,398
非支配株主持分	617	684
純資産合計	33,343	35,374
負債純資産合計	110,554	118,171

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	74,228	81,703
売上原価	51,126	56,863
売上総利益	23,101	24,839
販売費及び一般管理費	17,530	18,618
営業利益	5,571	6,221
営業外収益		
受取利息	41	33
受取配当金	119	122
受取手数料	176	151
貸倒引当金戻入益	51	172
その他	277	348
営業外収益合計	667	828
営業外費用		
支払利息	729	612
為替差損	85	782
その他	32	51
営業外費用合計	847	1,446
経常利益	5,391	5,603
特別利益		
固定資産売却益	38	15
特別利益合計	38	15
特別損失		
固定資産除売却損	39	35
その他	27	—
特別損失合計	66	35
税金等調整前四半期純利益	5,363	5,583
法人税等	1,570	1,834
四半期純利益	3,793	3,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,771	3,645

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	3,793	3,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	△226
為替換算調整勘定	△79	△437
退職給付に係る調整額	34	△7
その他の包括利益合計	147	△671
四半期包括利益	3,941	3,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,915	2,989
非支配株主に係る四半期包括利益	26	88



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,512	24,471	73,984	244	74,228	—	74,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	725	277	1,002	351	1,354	△1,354	—
計	50,237	24,749	74,987	595	75,583	△1,354	74,228
セグメント利益	4,113	1,839	5,953	33	5,987	△595	5,391

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△595百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△583百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,769	27,729	81,498	204	81,703	—	81,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	758	261	1,020	348	1,369	△1,369	—
計	54,527	27,991	82,518	553	83,072	△1,369	81,703
セグメント利益	3,672	2,719	6,391	44	6,436	△832	5,603

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△832百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△827百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。